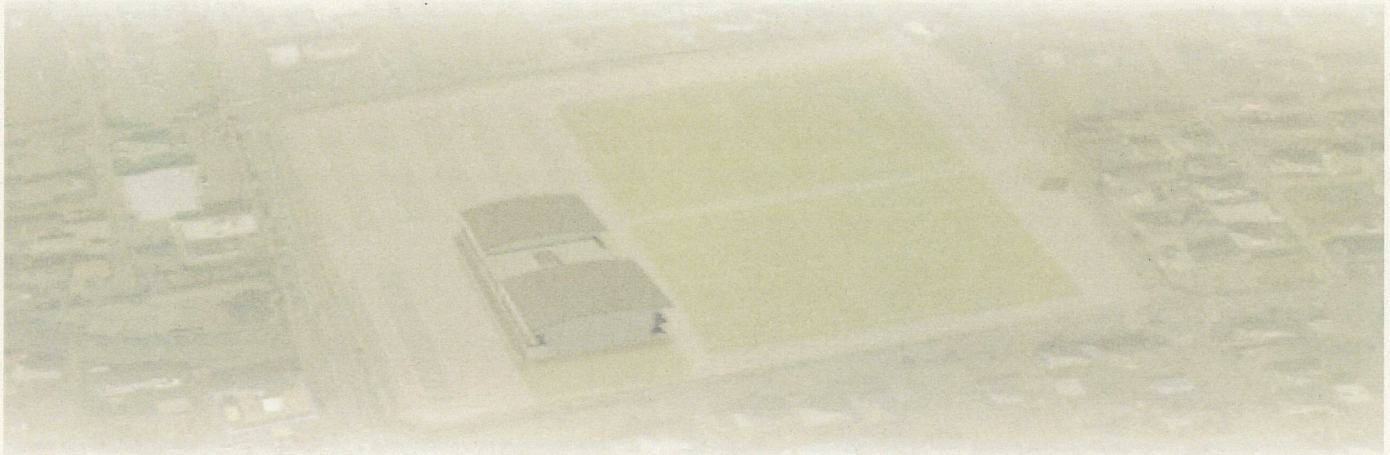




# 矢板市文化スポーツ複合施設の整備について



矢板市文化会館は、令和元年10月の台風19号により被災し復旧が困難となったことから、老朽化の著しい矢板市体育館等と複合整備することで、将来的な人口減少や市民ニーズに応じた効率的で効果的な行政サービスの提供が可能な多機能型施設として生まれ変わります。

## 1 文化会館の整備方針について

市文化会館については、復旧の検討をしてきましたが、老朽化による改修費用や防災の観点などから延命させ、利用を続けることは望ましくないと判断し、復旧を断念することになりました。

しかし、矢板市にとって文化会館のような施設は必要であると考え、新たな施設として屋内体育施設をはじめとする既存施設の集約などを視野に入れ、今後整備を検討していくこととしました。



▲ 昭和56年に建設された矢板市文化会館は、大ホール（定員1,112人）と小ホール（定員400人）を持ち、塩谷地区最大規模の文化施設として市内外の方から多く利用をされてきました。  
台風19号による大雨の影響で、近くにある中川がはん濫し、地下の電気室や空調機械室に水が流れ込み電気系統が壊れ、被害を受けてから休館となっています。

### 現文化会館を復旧させると…

災害復旧工事  
約**5.2**億円

（補助金+共済金）市負担なし

水没した受変電設備、空調機器および発電設備などは修理で対応ができず、新たに設備の設計・製造をするため、約2年の期間が必要となります。

#### 《改修後の問題点》

- ・文化会館がある内川右岸が洪水浸水想定区域に指定される可能性が高く、今後の災害でも再び浸水するリスクがある。
- ・定員1,112人の会場に対し、1回あたりの平均利用者が215人となっており、年間3,000万円の赤字が発生している。

老朽部分改修工事  
約**11**億円

（補助金等なし）市全額負担

被災した設備を復旧させた後も順次、建物の耐震化や音響、舞台などの各種設備の改修が必要であり、本市にとって大きな財政負担となります。

以上のことから  
**復旧断念**  
を決定

## 2 文化スポーツ複合施設の整備コンセプト

本施設は、市民の利便性や安心安全を確保する防災拠点施設として、また、市の重点施策であるスポーツツーリズムを推進する施設として「とちぎフットボールセンター」に整備します。

～文化とスポーツを融合したまちづくりの推進～  
賑わいとふれあいの文化・スポーツ複合拠点の形成



整備方針

- 1:文化とスポーツの複合拠点
- 2:スポーツツーリズムの推進に連携対応
- 3:市中心部の賑わいを創出

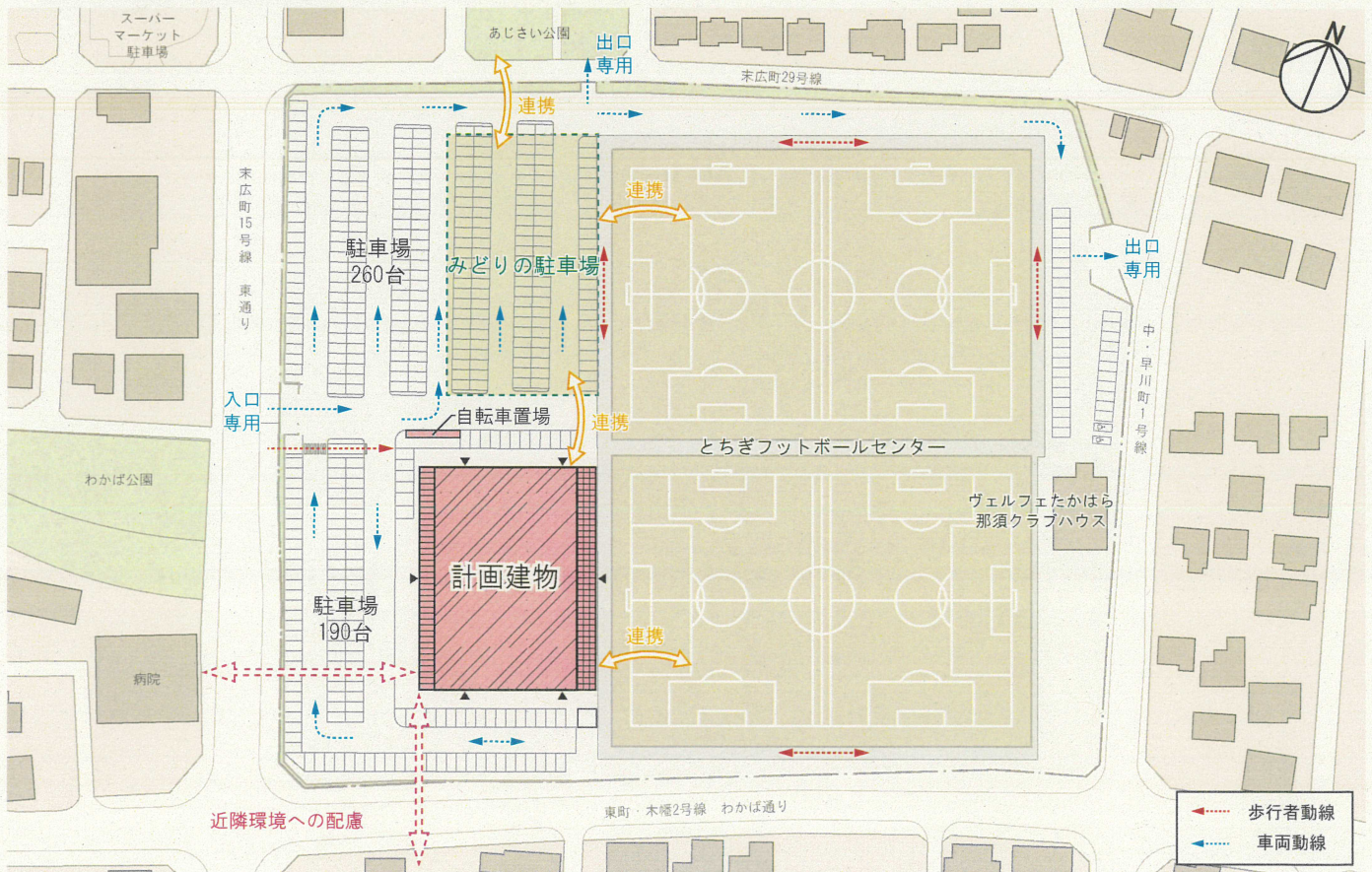
- 4:交流・イベント活動の活発化
- 5:誰もがスポーツを楽しめる場
- 6:公民館の再編・集約化

- 7:人々が安心して避難できる場の確保
- 8:防災拠点として必要な機能・施設

## 3 敷地利用計画

とちぎフットボールセンターは、中心市街地で駅に近く路線バスの停留所もあることから、徒歩や公共交通の利用による来場が可能であるとともに、場内には約400台の駐車場を整備することで、誰もが気軽に利用できる交流拠点として整備します。

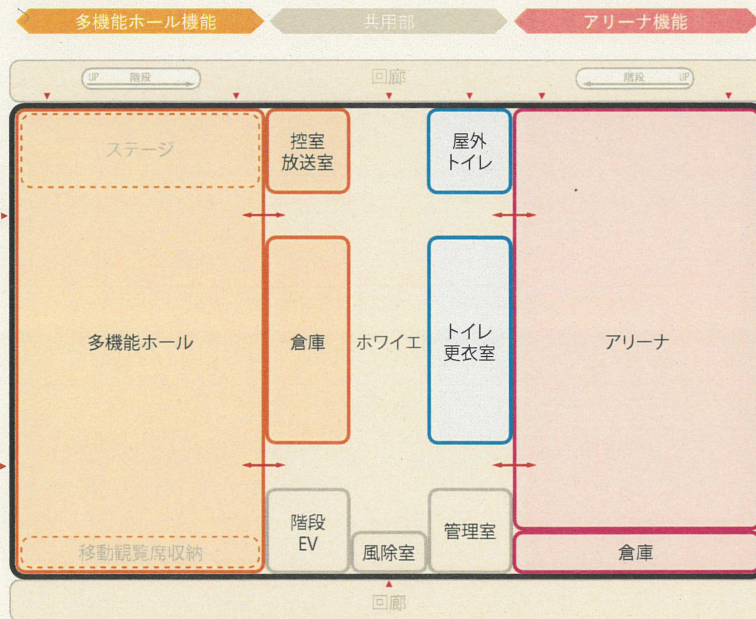
また、建物の色彩や圧迫感の軽減など周辺との調和を図るとともに、騒音や電波障害など周辺環境に配慮し整備を進めます。



## 4 ゾーニングイメージ

面積は約2,900㎡、建設費は約15億円、そのうち財源として地方創生拠点整備交付金（国）約6億7千万円を見込みます。

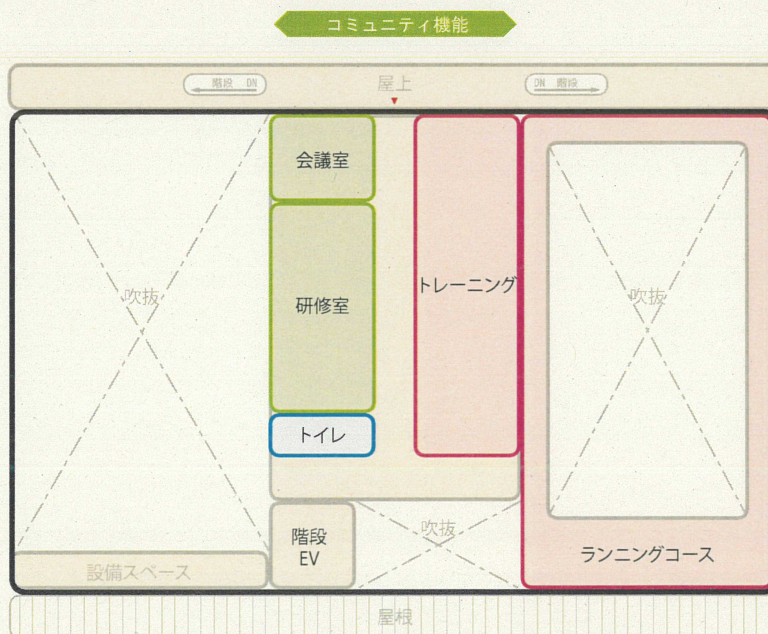
### 1階



面積約2,300㎡

- ・多機能ホールとアリーナ（各バスケットボールコート1面分の大きさ）で構成されます。
- ・多機能ホールは、移動式の観覧席とステージを整備し、文化会館としての機能を備えます。収納時は通常の体育館として使用できます。
- ・多機能ホールとアリーナの間、ホワイエ（通路、広間、休憩所）を挟むことで、文化活動とスポーツ活動がお互いに干渉することなく、同時に利用できるよう整備します。
- ・バリアフリーとして、段差のないフロア、多機能トイレ、エレベーターなどを整備します。

### 2階



面積約600㎡

- ・研修室や会議室は、文化活動やスポーツ活動の講習会やミーティングなどに活用できます。
- ・トレーニングルームは、スポーツのトレーニングや健康維持のための運動ができる機材を設置します。
- ・雨天時など屋内でのランニングができるよう一周約120mのランニングコースを整備します。

## 5 事業スケジュール

	令和3年度 (2021年度)			令和4年度 (2022年度)			令和5年度 (2023年度)			令和6年度 (2024年度)		
	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6
新築工事関連	基本設計～実施設計											

※工事期間については、諸条件（資材納期の長期化など）により変更になる可能性があります。

## 6 これまでの取り組み

- 令和元年 10月12日 台風19号豪雨被害により使用不能となる  
 12月26日 庁内で文化会館の復旧方法及び費用、再整備方法について検討
- 令和2年 1月17日 矢板市議会へ報告  
 （文化会館の復旧方法及び費用、再整備方法の検討結果と民間調査機関の調査実施について）  
 1月18日 文化会館の整備に関する記事掲載（下野新聞）  
 1月20日 文化会館の整備に関する調査事業業務委託契約  
 4月24日 文化会館の整備方針決定  
 6月 5日 矢板市議会へ報告（文化会館の整備方針について）  
 8月17日 文化体育複合施設整備基本計画策定業務及び民間活力導入検討調査業務委託契約  
 9月30日 第1回文化体育複合施設整備検討委員会  
 11月 4日 第2回文化体育複合施設整備検討委員会  
 3月 1日 広報紙に文化会館整備方針を掲載
- 令和3年 3月 8日 第3回文化体育複合施設整備検討委員会  
 3月24日 文化体育複合施設整備基本計画決定  
 4月15日 矢板市議会へ報告（文化体育複合施設整備基本計画について）  
 4月17日 文化体育複合施設整備基本計画に関する記事掲載（下野新聞）  
 7月 1日 文化スポーツ複合施設基本・実施設計業務委託契約

※文化体育複合施設整備検討委員会

行政区長、文化協会、スポーツ協会、市議会、市関係課（各々の代表）及び学識経験者で構成する検討組織



広報やホームページ等で、整備内容や進捗状況をお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ：矢板市国体・スポーツ局 (0287) 43-6218（生涯学習課 取次扱）